

NO. 4	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	鈴木 慎也	
<p>1. 戦略的支援策で「ベッドタウン木古内」の新しい可能性について 本年は「新幹線元年」として記念すべき年となりました。</p> <p>数年にわたり行政と民間が一体となり、一生懸命に取り組まれた結果、道の駅みそぎの郷きこないにおいては、予想を超える50万人以上の来館者を達成するなど、素晴らしい成果をあげ大変嬉しく思います。</p> <p>しかしながら、人口減少は進んでおり、特に若者の我が町に対する将来不安はぬぐいきれません。</p> <p>本年度から企業誘致やちょっと暮らしの準備が進んでおりますが、雇用面からの人口増だけでは経済状況が未だ厳しい中、大変難しいものであります。</p> <p>ここで、並行して新たな戦略的支援策を展開し、住む町木古内として選択する際のきっかけを創出すべきと考えます。</p> <p>地域性や交通の利便性、優位性を活かし住む木古内としての環境整備を進め、「ベッドタウン木古内」としての新しい役割が「明るく希望溢れるまち木古内」に、必要な施策であると考えております。</p> <p>現時点での人口減少対策委員会等の進捗状況、評価、成果をお知らせください。</p> <p>また、下記3点の提言について町長の見解を伺います。</p> <p>①求人求職者マッチング支援策 (地元事業者やハローワーク等関係機関との連携を強化し、地元ならではのタイムリーな新しい情報の提供。子育て世代の女性求職者や定年退職後の高齢者に対する就業相談の実施を展開しさらなる求人、求職のマッチング促進)</p> <p>②大学生の転入促進 (函館市など近隣の大学等に入学、在学する学生に対して、家賃補助や通学バスを導入した転入促進策。また、仕掛けとして「学習支援教室」の講師としての活用や人手不足に悩む地域のボランティア活動への参加を促進)</p> <p>③町外通勤者への通勤費支援 (新幹線、道南いさりび鉄道、高規格道路(平成31年開通予定)を積極的に活用した通勤者への支援策)</p>			町 長